いわせ和子議会質問

一部抜粋構成

あなたに代わって質問します。暮らしの疑問、地域の困りごとをお知らせください。

平成25年3月定例会

○薬師池公園周辺施設の魅力向上について

質問　薬師池公園とその周辺施設を訪れる市民の利便性について市の考えは？

（答弁）**都市づくり部長**　薬師池公園周辺地域全体を1つの大きな園地として紹介し、案内機能の充実、既存施設の機能向上、地域資源の活用等、魅力向上に取り組んでいく。具体的には、わかりやすい案内サインの設置、パンフレットの作成、既存施設への軽飲食所の併設等、気軽に立ち寄れる場所の創出、町田の名産品、お土産の購入や地域の食材を使った料理等も楽しめる施設の設置。また、各種施設間の円滑な移動手段や駐車場の適正配置、移動アクセスの利便性向上を図る。

質問　フォトサロンに軽飲食所の併設や周辺の施設にも授乳スペースの設置を。

（答弁）**都市づくり部長**　フォトサロンは、軽飲食所を設置する場所の一つの有力な候補地。他の既存施設も含めて充分に検討する。また、なるべく多くの施設に授乳スペース等を設置する。

質問　薬師池公園周辺の観光地を巡る手段として循環小型バス、ペロタクシー、相乗りタクシー、公共レンタルサイクル等の導入の検討を。

（答弁）**都市づくり部長**　地域のイベント等も踏まえた上で、ルートの検討や採算性を今後見極め、継続性、安定的な運行が可能であるという点においても充分に検討していく。

質問　七国山山頂に行く迄に案内サインの設置。七国山山頂に「あずまや」の設置と頂上を示す標識の設置を。

（答弁）**都市づくり部長**　案内サインの設置、パンフレットは早い時点で対応し、利便に即していく。頂上に示す標識は、サイン計画等のデザインも含め設置については検討する。七国山の大半が東京都の緑地保全地域の指定の為、「あずまや」の件は、都に協力を求め、設置を今後検討する。

○ポプリホール鶴川について

質問　町田市民ホールでの催し物のチケットをポプリホール鶴川でも受け取り可能に。また、インターネットによるチケット販売をポプリホール鶴川でも対応を。

（答弁）**文化スポーツ振興部長**　ポプリホール鶴川でも町田市民ホールのイベントのチケットを受け取り可能にする。また、インターネットによる購入も検討する。

平成25年6月定例会

○鶴川平和台地区街づくりプランについて

質問　鶴川平和台地区は、1972年、昭和48年に入居が始まり、現在25㌶に約700軒。この地区は、条例に基づいて建築行為のルールを決め、街づくり推進地区に指定されたのは多摩地区でも初めて。この地区において、地区街づくりプランの策定に至った経緯は？

（答弁）**副市長**　近年、建築協約等に違反するケースがあらわれ、現状のままでは良好な町の環境や景観を維持していく事の限界。2009年、町田市住みよい街づくり条例に基づき、地区内の居住者及び権利者が平和台街づくり推進委員会を組織し、街づくりのルールの検討を開始。2012年4月、地区内に居住、又は権利者の方々多数の合意を得て具体的な街づくりのルールを決めた地区街づくりプランの案が市に提案された。市は、プランの原案を作成し、説明会の開催や縦覧、及び意見募集を行い、2013年4月26日に多摩地区で初めて同条例に基づく建築行為のルールを決めた地区街づくりプランを策定。更に、このルールの実効性を高めるため、2013年5月1日に街づくり推進地区に指定し、建築行為などを行う際は市への届け出が必要となった。

質問　街づくりプランの具体的な内容は？

（答弁）**都市整備担当部長**　建築のルールは4つ。①共同住宅を建築してはいけないという用途の制限。②建築物の高さの最高限度は10m、軒の高さ7m、更に階数は2階建まで。③敷地面積の最低限度を165㎡。④壁面の位置を敷地境界から1m以上。更に、地域で自主的に運用するルールとして、建築物の外壁、柱及び屋根等の色を環境に調和した落ち着いたものにする事、垣根や柵などは透視可能なものとする等を定める。

質問　街づくりプランの期待する効果は。

（答弁）**都市整備担当部長**　建築の際、一定の制限がかかり、良好な住宅環境が守られていく効果があると考えており、平和台街づくり推進委員会が中心となり、活動を通して住民のコミュニティーの継承、発展が図られていくと期待している。

質問　町田市が他の都市と比べて住みたい町として選ばれるため、どのような取り組みを行うのか。

（答弁）**都市整備担当部長**　選ばれる町になる為には魅力づくりが必要で町の質を高めるという取り組みも重要。既存の住宅地に関しては、平和台のように地区の特性を生かした良好な街づくりの為に、そこに住む住民が主体になった街づくりプランを策定する等して住民と市が協働で良好な街づくりを行っていくことが大切。市は制度のPRを行い、引き続き支援を行う。また、新たに開発される住宅地は、良好な景観形成をつくる為、景観計画に基づいた街づくりを誘導する。今後もより多くの地区で良好な街づくりが進むよう取り組んでいく。

○三輪地域の応急給水槽について

質問　東日本大震災3・11をきっかけに、三輪地域の5町内会で再度東京都に応急給水槽の設置を要請。地元住民の念願の応急給水槽が三輪中央公園に設置されることになった。施設内容は？

（答弁）**防災安全担当部長**　施設内容は、地下式の貯水タンクで容量100立方メートルの予定。容量は、1万人の方々に対するおよそ3日分の飲料水に相当する。

質問　応急給水槽設置迄の工事のスケジュール、地域住民への周知方法は。応急給水槽の維持管理は東京都水道局で、資材の設置、給水活動、住民に配る活動は、町田市の職員という認識でいいのか？

（答弁）**防災安全担当部長**　2014年度に工事に着手し、完了する予定。東京都が工事に着手する前に説明会を行う。つくし野セントラルパーク、忠生公園等、従来からある他の応急給水槽と同様に町田市管工事協同組合や市職員により応急給水活動を行う。

平成25年9月定例会

○投票率向上に向けて

質問　電子投票導入で開票時間の迅速、効率化、無効票、疑問票の削除などが図れる。市の考えは？

（答弁）**選挙管理委員長**　現状は、技術面の不安があり、先駆的に導入した自治体にトラブルが発生し電子投票から撤退したという例も数多い。今後、技術革新を注視し情報収集、研究していく。

岡山県新見市・電子投票

質問　愛媛県松山大学は、全国初の期日前投票所を校内に設置。町田市でも大学を期日前投票所として検討を。また、フェイスブックを活用し啓発活動を。

（答弁）**選挙管理委員長**　大学に期日前投票所を試行的に設置する事は、費用の問題、有権者の混乱等影響が大きいため、現段階では考えていない。フェイスブック等を利用した啓発活動は是非進めて行く。

○ご当地カルタの作成を

質問　子ども達にご当地カルタの作成を。

（答弁）**広報担当部長**　町の魅力を伝えられる手段である。他にも、様々な手段を研修する。

平成25年12月定例会

○学習室（自習室）の充実を

質問　中高生に学習するための環境整備を

（答弁）**子ども生活部長**　子どもセンターは、工作室や調理室等、机のあるスペースを時間や期間によって中高生専用に開放する等の工夫が必要と考えている。

質問　ポプリホール鶴川の1階の喫茶で学生がたむろしているという現状を市は、どのように受けとめているか？

（答弁）**市民部長**　長時間にわたる占用をやめてもらう。必要に応じて施設管理者から注意し、教育委員会へ生徒に対する指導をお願いする。

質問　ポプリホール鶴川のフリースペース以外の3階の会議室を学生が利用できるよう開放を。

（答弁）施設設置条例の中では、市民の芸術文化の創作活動及び地域的な協働活動、その他の市民活動の推進という事を目的として設置している。現時点では、学生の自習室としての開放をするという事は困難。

要望　空き会議室の利用については、ポプリホール鶴川に限らず、市民ホールや各コミュニティセンターの会議室等、登録済の団体だけに貸出すのではなく、空いている時は個人貸しを了とする等、柔軟な対応も必要。条例にとらわれずに、ポプリホール以外でも空室の利用率向上という視点からも是非検討を。子どもの学習室、子どもの居場所づくりは、町田市全体で考えるべき重要な課題である。

○飼い犬のふんの放置について

質問　犬のふん害対策「イエローカード作戦」を町田市全域で取組みを。また、市のホームページや「ペットタウンまちだ」の広報誌に掲載して周知を。

（答弁）**地域保健担当部長**　犬のふん害問題は、特定の地域に限る事ではなく、市全域の問題。取り組む町内会・自治会等の団体に直接お知らせする他に、広報紙や市のホームページを利用する等、多くの地域で取り組めるよう準備を進める。また、地域の実情に合わせた内容も検討する。

○三輪緑地の今後について

質問　鶴川地域の三輪緑地は、「良好な自然と触れ合える環境文化育成拠点」「水と緑の拠点」「自然環境と歴史が調和した拠点」として地元住民に親しまれている。市は、保全を目指し、用地買収を進めているが、三輪緑地の用地買収の現状と課題は。

（答弁）**都市づくり部長**　現状は、三輪緑地の用地は全体面積21・1㌶のうち、2013年12月の時点で約5・7㌶を取得。用地の取得率は約28%。課題は、残りの用地約72%、面積にして約15・4㌶の用地を早期に取得する事。

質問　三輪地域内のペット霊園跡地内にある施設の有効活用を。

（答弁）**都市づくり部長**　ペット霊園跡地内の建物は管理棟として管理事務所及びビジターセンターの機能を持たせる予定。先ずは、用地買収を早急に進め、その上で部分開放と建物の活用方法について検討する。

要望　子ども達に環境学習等の機会を提供する場、高齢者や身体障がい者の方へ配慮された施設整備を。今後の活用方法は地域、町内会や地域活動団体ともよく協議し進めていく事を要望する。

平成26年6月定例会

○ドメスティックバイオレンス（DV）の被害者支援対策を

質問　DVの被害者支援対策として相談や被害者保護、自立生活への支援等、必要な支援の役割を担う「配偶者暴力相談支援センター」の設置を

（答弁）**市民協働推進担当部長**　現在、男女平等推進センターでは、相談業務を行いその他の機能については他の関係機関と連携することで対応が出来ている。配偶者暴力相談支援センターの開設、今のところ考えていない。

質問　DVに対する取り組みは。また、被害に遭われてしまった方々に対する対応は。

（答弁）**市民協働推進担当部長**　暴力に対する認識を深め、暴力を未然に防ぐ事に力を入れている。取り組みは、恋人間の暴力防止、デートDV防止講座、子どもの暴力防止のためのCAPプログラム等を実施し、幅広い年齢層に働きかけている。被害に遭われた方への対応は、女性悩みごと相談も実施。この相談を通したDV被害者への対応も行っている。電話相談内容により緊急な対応が必要な場合は、必要な関係機関へつないでいる。

要望　配偶者暴力相談支援センターがある事で今以上の傷害、暴力、殺人、虐待等を防止し、DVの為のワンストップサービスにつながり、庁内の他部署との連携も更に密になり、早い段階であらゆる面での解決策につながる。被害者支援の対策として相談や被害者保護、自立生活への支援等、必要な支援の役割を担う配偶者暴力相談支援センターの設置を強く要望する。

○就学援助制度について

質問　就学援助制度の概要と町田市の取り組み状況、推移は？

（答弁）**学校教育部長**　就学援助費は、経済的理由により就学が困難と認められる小中学校の児童生徒の保護者に対し、学校でかかる費用を援助するもの。支給内容は、学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費などで、ほとんどの支給費目は実費支給で対応。また、中学校武道必修化に伴い体育実技用具費を、2014年度は小学校給食費のアレルギー対応の為に、学校生活管理指導表の文書料を新たに支給費目として追加。尚、町田市における2013年度の就学援助費の受給状況は、小学校で受給者数3、346名、受給率14・2%、中学校で受給者数2、015名、受給率19・1%という状況。

質問　中学校給食費の事前支給については、給食費を保護者口座に事前に振り込みをすれば、保護者の負担が軽減される。また、調理業者と話し合い、給食費を後払い制にしてもらうなど、柔軟な対応を。

（答弁）**学校教育部長**　中学校給食費の事前支給については、就学援助費の認定時期、給食費の未納問題、精算の方法等、幾つかの課題がある。今後研究課題として考える。

（答弁）**副市長**　町田市の場合、今年度については昨年度の状況ということで引き続き変わっていないが、来年度以降については、今後検討していく。

平成26年9月定例会

○ムンプスワクチンの公費助成を

質問　おたふく風邪は多くの合併症があり、約100人に2人が無菌性髄膜炎、1、000人に1人が難聴に。また、脳炎を起こして障がいが残り死亡する事もある。思春期以降に感染すると睾丸炎や卵巣炎を併発し、不妊の原因になることもある。おたふく風邪ムンプスワクチンの公費助成を。

（答弁）**地域保健担当部長**　おたふく風邪に対する公費助成の予定はなし。今後は、予防接種のスケジュール管理ができるアプリ「わくわくワクチン」も利用し情報提供について再度検討する。

質問　小児肺炎球菌ワクチンは、公費助成を開始。接種当初（2011年4月）は、7価のワクチンを利用。2013年11月、より有効性の高い13価ワクチンに切り替えられた。13価ワクチンの追加接種を行う際の公費助成を。

（答弁）**地域保健担当部長**　市も13価ワクチンの有効性について認識している。追加接種に対する公費助成は、他の自治体の状況やその費用対効果等を確認し、必要性について検討する。

要望　予防接種の知識を高め認知度を上げる事で接種率が向上し小児2次救急の支援、医療費の助成にもつながる。予防接種を受け易い環境づくりは重要。住んでいる自治体によって予防接種ワクチンの格差が生じる事は絶対に許されない。任意予防接種の全ての公費助成を心から切望する。

○タクシー会社との関わりについて

質問　タクシー会社と連携し「おもてなしタクシー」の取組みを。また、町田市観光コンベンション協会と連携し、町田市の観光街づくりの推進を。

（答弁）**経済観光部長**　「おもてなしタクシー」は、観光協会やタクシー協会が主体となって運営している制度。接客マナーや観光知識に関する専門的な研修を受け、認定試験に合格した乗務員が運転するタクシーで各地の先進事例を参考に研究する。

要望　町田市では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、町田市内への観光誘致を行う為、観光街づくりを推進中。しかし、市がどんなに施設整備をし、どんなに市の職員が心温まる接客をし、市の魅力をPRしても、タクシードライバーの接客対応が悪ければ、町田市の印象は簡単に打ち消されてしまう。タクシードライバーの顔イコール町田市の顔である。積極的な連携を望む。

質問　タクシー会社という公共交通機関と連携し子育て支援対策として「子育てタクシー」の取り組みを。

（答弁）**子ども生活部長**　子育てタクシーは、乳幼児を連れての外出のサポート、習い事等への子どもだけでの送迎等、安心して任せられる地域の子育て応援として活躍するタクシーで他の交通機関と異なりドア・ツー・ドアで子育て中の移動では非常に特色のある公共交通機関。今後、調査研究する。

要望　「おもてなしタクシー」も「子育てタクシー」も主体はタクシー会社。子育て世代から喜ばれる町、訪れたい町とする為に、町田市とタクシー会社が今後どのように連携していくかが大きな課題。懇談を持ち、積極的な取り組みを要望する。

質問　ポプリホール鶴川に喫煙所の設置を。

（答弁）**文化スポーツ振興部長**　喫煙所が設けられないか以前検討をしたが、適当な場所は見つからなかった。

質問　鶴川駅周辺道路等、喫煙禁止区域にある喫煙所に囲いや屋根等の設置を。

（答弁）**環境資源部長**　喫煙場所は、広さや位置関係等により交通安全上の問題等が生じるためパーテーション等を設置する事は困難な状況。

質問　成瀬駅北口側に喫煙所の設置予定は？

（答弁）**環境資源部長**　成瀬駅周辺道路等喫煙禁止区域は、交通量の多い北口側に喫煙場所が設置されていない。適切な指定場所を求め、民有地を含めて検討、調整中。

報告　町田市民病院の喫煙所は駐車場の脇に設置。本来、医療機関は敷地内禁煙が原則。将来的にこの喫煙所は撤去される。

平成26年12月定例会

○鶴川地域の子育て支援について

質問　鶴川地区の子どもクラブの整備はどこに？

（答弁）**子ども生活部長**　整備する必要性の高い中学校区が鶴川地区に2箇所。鶴川第二中学校区は、三輪地区を目標に、鶴川中学校地区は、野津田町、小野路町を想定し今後検討する。

質問　子どもクラブの整備方法は、既存の建築物を改築するのか？新たに建築するのか？

答弁　**子ども生活部長**　どちらの方法を選択するかは、その状況により判断。こどもクラブを新たに整備する場合は、補助金の対象となり、立地・建設コスト・ランニングコスト等を総合的に検討し判断する。

質問　三輪地域の学童保育クラブの整備は喫緊の課題。市の考えは？

（答弁）**子ども生活部長**　三輪子どもの学園保育クラブは、立地上、敷地を広げる事が難しい状況。一方、三輪小学校にも教室に余裕がない状況。また、近隣の適当な土地がなく現在、移転の目途は、立っていない。今後も適地を探していく。

（答弁）**市長**　土地について地域の方に情報提供をお願いしていきたい。

要望　三輪小学校の近くに学童クラブの適地、子どもクラブの適地を確保し建設する事は、この地域にとって、喫緊の課題である。今後の三輪地域の子育て支援の在り方を、地元や関係機関と充分な検討を。子ども達の未来のために魅力ある鶴川地域の子育て支援を強く望む。

○ボランティア袋・おむつ袋の配布時間の拡大を

質問　ボランティア袋・おむつ袋は、市役所や各市民センター等で配布。土・日や祝日でも受け取り可能に。また、ポプリホール鶴川も開館中に配布可能になるよう時間の拡大を。更に町田市内の体育館、公民館、ことばらんど、市立図書館、また、移動図書館でもボランティア袋・おむつ袋の配布を可能に。

（答弁）**環境資源部長**　指定管理者が管理している施設、図書館等での配布が可能か、それぞれ研究していく。

いわせ和子は町田をもっと便利に、快適に。皆様の声を形にします!!

質問事項を要約して報告させていただきました。詳しくはＨＰをご覧ください。